

2025年12月	<h1>青空機械新聞</h1> <h2>業界ニュースとトレンド紹介</h2>	発行 第27号
----------	--	------------

2025年の最終回です

今年も気が付けば残り2週間を切り、あっという間に年の瀬を迎えております。今年も多くの方々に助けて頂いた1年でした。この紙面を借りて、改めて御礼申し上げます。また、今年はご一緒にお仕事が出来なかった方とも、来年は是非お仕事をさせて頂ければと強く願っております。

風邪やインフルエンザが大流行しておりますので、皆様ご体調には万全の対策をして頂き、良いお年をお迎えください。

それでは、今年最後の市況報告をして参ります！！

日本国内受注数字

2025年10月受注額：約**356億円**

※鍛圧・板金機械は含まず。

前月比**18.2%減**、前年同月比**6.7%増**となりました。

10月は鉄鋼、建機、自動車以外の全ての業種で前月比マイナスとなりました。金型関連は前月比わずかにマイナスでしたが、前年同月比では**30%弱**のプラスとなり、長く苦しんでいた同業種にとって明るい兆しかと思いたいですが、新潟県内の金型関連のお客様からは依然厳しい声が多く聞かれます。また、年度末に向けての納入を目指した官公庁・学校からの受注が前月比約**2倍**、前年同月比**4.5倍強**となりました。

発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械（あおぞらきかい）

代表者：青木 佑典（あおき ゆうすけ）

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

Email：contact@bsmt.co.jp

2025年10月 米国工作機械受注について

2025年10月米国機械受注額
\$538.9million(約835億円／
\$1=¥155換算)

10月は前月比**9%増**、前年同月比**40.3%増**となりました。

2025年1月から10月までの機械受注総額は44億7000万ドル(約6,930億円)となり、前年同期比で**19.7%の増加**となりました。

10月は受注金額及び台数も2023年3月以降で最高を記録し、受注額5億ドルを超え、“超”が付くほどの好調数字となっております。米国経済への懸念が広がっておりますが、モノづくり現場では官民それぞれからの需要が持続しており、金属加工機械への投資は高水準で継続されております。

工作機械の最大の顧客である鉄工所からの受注は依然旺盛であり、



且つ、省人化仕様が多く選ばれている為に、一件あたりの受注額の高額化は継続されております。

航空・宇宙関連の受注は依然好調で、この動きは今年いっぱい続くと予想されております。

データセンターからの電力需要が継続していることから、新たな発電量増加への追加投資が進み、エンジン、タービン、その他動力伝達機器メーカーからの受注が大幅に増え、受注額及び台数も過去3年で最高を記録しております。
(AMTLレポートより)

2025年11月 米国自動車販売台数(新車)

2025年11月米国新車販売台数は前年同月比**6.7%減**の**127万4,624台**でした。

季節調整済み年率換算販売(SAAR)は1,560万台/年(前年同月1,650万台)でした。※**米国では1,700万台/年を超えると自動車販売が好調とされております。**

電気自動車(EV)購入に対する連邦税額控除が9月末で終了したことに伴い電気自動車(EV)の需要が落ち込んでいる。また、関税

対象の製品が従来の非関税対象在庫を置き換えていく中で、価格が上昇しつつあり販売が鈍化している。更に、中国資本のオランダ半導体メーカーNexperia問題に起因する世界的な半導体不足や、アルミ大手Novelisのニューヨーク工場火災により生産・販売にマイナス影響がありました。

11月初旬の総在庫台数は314万台で、1カ月前の280万台から増加し、在庫日数も67日から70

日に増加しました。10月末の在庫日数をブランド別にみると、在庫が多めだったのは、米国ブランドではリンカーン95日、ラム95日、ジープ89日、フォード82日、ビュック71日、GMC71日。日系ではアキュラ89日、日産76日、マツダ66日でした。欧州ブランドではVW102日、韓国ブランドの現代が67日でした。一方、在庫が少なめだったのは米国ブランドのクライスラーが26日、日系ブランドの三菱31日でした。それ以外では、米国ブランドのシボレー63日、キャデラック61日、ダッジが51日でした。日系ではホンダ58日、インフィニティ58日、スバル45日、レクサス33日、トヨタ33日でした。

欧州ブランドではアウディ40日、メルセデス・ベンツ37日、BMWが35日、ボルボ32日でした。韓国ブランドではジェネシス63日、起亜32日でした。

日本車の11月販売は、トヨタが前年同月比2.7%増でしたが、それ以外のメーカーはいずれも減少し、ホンダは15.3%の大幅減となりました。同社はNexperia関連の半導体供給不足により、北米工場で3週間生産を調整した影響がありました。

日産は7.7%減、スバルは9.7%減、マツダは1.5%減、三菱は26.9%減でした。

(マークラインズより)

（株）青空機械 が勝手に選ぶ 『マシンツール・オブ・ザ・イヤー2025』

当社の独断で選ぶ、今年の日本を代表する工作機械は！！

ブラザー工業（株）製マルチタスキングマシン『Mシリーズ』です！！

今年は決して景気が良かったとはいえず、厳しい日々を過ごした会社様も少なくなかったと思います。そんな中でも経営者は次の一手を常に模索し続け、次はどんな設備を導入すべきか悩まれているかと思います。

既存の設備と同じでは成長が難しい、かといって予算は限られている。そんな悩める経営者の方に注目された機械がブラザー工業（株）／Mシリーズです。同製品は30番立形5軸マシニングセンタに旋削機能を持たせた超複合加工機にも関わらず、価格はリーズナブルに抑えられており、複合機のエントリーモデルとして工程集約による人手不足対策や、今まで出来なかった加工を実現するゲームチェンジャーになりうる可能性を持った機械です。

不景気の中でも、チャレンジする事を恐れない勇気ある経営者に敬意を表し、マシンツール・オブ・ザ・イヤー2025に選出いたしました。



● 旋盤＋マシニングセンタ



ご興味のある方は、まずは当社に見積依頼を！！

補助金、その他機械設備に関してご質問等がございましたら、当社までお問合せください。

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

E-mail : aoki@bsmt.co.jp

青 空 機 械

検索

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満39歳)
2009年 (株)兼松KGK 入社
2010年
↓ 同社新潟営業所勤務
2016年
2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社
2017年
↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向
2020年
2021年 ユアサ商事(株) 入社
↓ 同社新潟支店勤務
2024年
2024年 (株)青空機械 設立